

令和2年度 第2回 研究評価委員会

開催日時

令和3年3月18日(木) 13:00~17:00

完了評価対象課題と評価結果

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(1)細かい霧降り牛肉安定生産技術の開発 (H29~R2 大家畜研究課)	4.0	4.0	4.3	4.3	16.5

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・三重県産ブランド牛の特質を支える研究開発
- ・ブランド牛のPRには非常に有用である

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(2)豚の快適性に配慮した飼養管理技術 の検討 (H30~R2 中小家畜研究課)	4.3	3.8	4.5	4.8	17.3

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・AWはJGAPにおいても重要なため今後農家に普及すべき技術である
- ・AWが推進される進捗を検証する必要がある
- ・採血がストレスになってしまうので、唾液中でコルチゾールを測る手法は非常にリーズナブルである

課題名	目標の達成度	得られた成果	成果の発展性	今後の進め方	合計
(3)中山間生活の一助となるめん山羊 の活用研究 (H30~R2 中小家畜研究課)	3.0	3.0	3.5	3.5	13.0

○ その他特記事項等 (評価委員コメント)

- ・冬期の放牧では雑草以外の飼料が必要か。繁殖は難しいか。
- ・杭打ち器の利便性が伝わりにくい。

令和3年度事前評価対象課題と評価結果

課題名	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される効果	合計
(4)めん山羊の省力的管理技術の検討 (R3 中小家畜研究課)	3.5	4.0	3.0	2.5	13.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

- ・豚熱が収まるまで、放牧の現地実証を行うことは難しいのではないかと。